

【様式1】 CAN-DO LIST 2025

学校名:	錦江湾	高等学校	大学科:	理数科
科目名:	英語コミュニケーションⅢ	学年	3年	

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	大谷翔平選手の野球歴について話されるインタビューから、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点を整理して把握することができる。	2	単元末テスト	1	ア
	L2 □	イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容について話される会話から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	5	単元末テスト	2	イ
	L3 □	難民の現状について話される会話から、話の展開に注意しながら、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	8	単元末テスト	3	イ
Reading	R1 □	現代のファッション業界、メジャーリーガーである大谷翔平選手の伝記から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	2	単元末テスト	1	ア
	R2 □	写真家の松本紀生さんの半生や作品についての雑誌記事から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	4	単元末テスト	2	ア
	R3 □	英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて書かれた論説文から、文章の展開に注意しながら、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	9	単元末テスト	3	イ
Speaking Interaction	SI1 □	友達の見解を知り、自分の考えをまとめるために、興味のある職業について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	3	スピーチ	1	ア
	SI2 □	3Dプリンターで家を建てることについて、賛成または反対の立場で、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	7	インタビューテスト	2	ア
	SI3 □	ペットとしてイヌやネコを選ぶべき理由について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、相手に質問や反論をしながら詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	10	ディベート	3	イ
Speaking Presentation	SP1 □	理想の図書館についてプレゼンテーションをするために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく話して伝えることができる。	1	プレゼンテーション	1	ア
	SP2 □	イグ・ノーベル賞を受賞した研究について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともにポスターで具体例を示しながら詳しく話して伝えることができる。	5	スピーチ	2	イ
	SP3 □	最近日本語に入った言葉とその意味についてALTの先生に説明するために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理的に詳しく話して伝えることができる。	9	プレゼンテーション	3	イ
Writing	W1 □	理想の図書館についてプレゼンテーションをするために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えることができる。	1	単元末テスト	1	ア
	W2 □	ハロウィーンの商業主義への批判に対して、賛成または反対の意見を発表するための原稿を、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理的に詳しく書いて伝えることができる。	6	単元末テスト	2	イ
	W3 □	ペットとして飼うならイヌとネコのどちらがよいかについて、発表するためのスピーチ原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理的に詳しく書いて伝えることができる。	10	単元末テスト	3	ア

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2025

学校名:	錦江湾	高等学校	学 年:	3年
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		大学科:	理数科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4・5	1	W	ア	単元末テスト	W1□	理想の図書館についてプレゼンテーションをするために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えることができる。
	5・6	2	R	ア	単元末テスト	R1□	現代のファッション業界、メジャーリーガーである大谷翔平選手の伝記から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	6・7	2	R	ア	単元末テスト	R1□	情報や自分の考えをまとめるために、現代のファッション業界、メジャーリーガーである大谷翔平選手の伝記から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	7	3	SI	ア	スピーチ	SI1□	友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、興味のある職業について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。
2	9	4	R	ア	単元末テスト	R2□	写真家の松本紀生さんの半生や作品についての雑誌記事から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	9・10	5	L	イ	単元末テスト	L2□	イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容について話される会話から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	10・11	5	SP	イ	スピーチ	SP2□	イグ・ノーベル賞を受賞した研究について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともにポスターで具体例を示しながら詳しく話して伝えることができる。
	11・12	6	W	イ	単元末テスト	W2□	ハロウィーンの商業主義への批判に対して、賛成または反対の意見を発表するための原稿を、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理的に詳しく書いて伝えることができる。
	12	7	SI	ア	インタビューテスト	SI2□	3Dプリンターで家を作ることにについて、賛成または反対の立場で、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。
3	1	8	L	イ	単元末テスト	L3□	難民の現状について話される会話から、話の展開に注意しながら、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	2	9	R	イ	単元末テスト	R3□	英語の語彙の歴史と新語の形成の仕組みについて書かれた論説文から、文章の展開に注意しながら、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	3	10	W	ア	単元末テスト	W3□	ペットとして飼うならイヌとネコのどちらがよいかにについて、発表するためのスピーチ原稿を理由や根拠とともに論理的に詳しく書いて伝えることができる。

英語コミュニケーションⅢ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
「話し取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。
「話すこと」「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。